

障がい者グループホーム 青い鳥topa-s 入居者募集

障がい支援事業トパースの堤です。トパースでは、新居浜で3棟、西条で1棟、合計4棟の障がい者グループホームを運営しています。障がい者グループホームは、「自立を目指すための第一歩」「退院後の生活の場所」としてなど、障がいのある方が地域で生活するため大切な役割を担うものです。

トパースでは現在、トパース土橋2階の入居者を募集しています。トパース土橋は男性専用のグループホームで、2階の定員は5名です。場所は11号線沿いで、近くにはコンビニ、ツタヤ、バス停、ド

ラッグストアなどがある利便性の良い環境にあります。室内にはWi-Fiも完備しているので、充実した環境で新しい生活をスタートして頂けると思っています。また、グループホームに入居する方が働く場として、就労継続支援事業所も運営しています。「住まい」と「仕事」を合わせて提供することで、よりよい地域生活が送れるよう支援ができればと思っています。

見学も隨時受け付けておりま

す。トパースがどんなところか、ど

んなことをしているのか、皆さまにご覧頂ければと思ってます。

お気軽にお問い合わせください。

青い鳥 topa-s

入居者募集

グループホーム紹介

- topa-s中萩【女性棟】(新居浜市中萩15-15)
- topa-s土橋【男性棟】(新居浜市土橋2-4-10)
- topa-s上原【男性棟】(新居浜市上原1-6-20)
- topa-s喜多川【男性棟】(西条市喜多川352-5)

空室情報
[令和4年10月時点]

topa-s土橋2階 [5部屋]
(令和4年10月オープン)

グループホームってどんなところ? 見学だけでも大歓迎!!
もちろん体験利用もできます。
お気軽にお問い合わせください!!

運営会社 株式会社 青い鳥

0897-66-9373
担当:堤(ツヅミ)
新居浜市久保田町3-9-27
FAX 0897-66-9373

コラム 労力って実は簡単に削減出来ちゃう!?

営業部 貴田 康弘

皆様こんにちは、営業部営業推進課の貴田です。本日はその労力って実は簡単に削減出来ちゃうかもしれませんよというお話をさせていただきます。さて皆様は普段どのスマートフォンをお使いでしょうか?多くの皆様がiPhoneやGalaxyなどをお使いだと思います。そんな状況の中AndroidOSの開発を行っているGoogleよりAndroidOSに特化した「Pixel6」が発売されました。この「Pixel7」はGoogle自社開発のSoC「Tensor」を搭載しており、他のスマートフォンに比べて様々な分野で先進的な機能を有しております。の中でも「リアルタイム翻訳」や「文字起こし」は多くのビジネスシーンで活躍できる機能だと思います。以前までのスマートフォンでもこういった機

能は搭載されておりましたが、スマートフォン単体で動作するのではなくサーバーに一度音声データや文字データを転送して作業を行うものでした。しかし、今回の「Pixel7」では端末内すべてを高速に高精度で完了するようになりました。そのため、社外に出すことのできない極秘資料や会議内容をスマートフォン端末内だけで翻訳・文字起こしすることができます。

以前までは英語で書かれた技術資料の翻訳や膨大な会議内容の文字起こしなどで貴重な時間が奪われてきましたが、これからはスマートフォン一台で高速にこなせる時代になりました。

皆様の会社や営業所にもこういった新技術を取り入れ、時短を進めるのはいかがでしょうか。それではまた次回のあぜりあでお会いしましょう。

貴田
康弘

-GREETING- 【編集長 白石 尚寛】

皆さま、こんにちは。編集長の白石尚寛です。10月、今年もWEBでの内定式。来年は、ネパールからの新入社員も入ってくれる予定で、合計6名の新入社員が当社に来てくれるとのこと。また、当社で中期経営計画を策定し直しています。メインの内容は、当社は、どんな思いがあって、どんな価値を提供できるのか? シンプルですが、難しい問題。しっかりと直視してまちに有益な企

業でありたい。あと、私事ですが、最近の私は勉強に明け暮れており、メンバー皆様、各所に迷惑をお掛けしたので、しっかりこの恩返しをしていきます。ありがとうございました。

白石
尚寛

現場用3Dプリンタ体験見学会を開催しました!!

ICT技術部 碇 満喜



皆様こんにちは。ICT技術部の碇です。

今回は9月20日、21日に開催された建設用3Dプリンター見学会についてご紹介します。

本見学会は国道11号新居浜バイパス工事の現場において、国土交通省四国地方整備局松山河川国道事務所様の協力を得て開催することができました。2日間で200名以上の方々にご来場していただいたイベントとなりました。事前にPolyuse様が開発した、セメントを使用し造形ができる建設用の3Dプリンターで実際に工事で使用する集水枠を製作し展示しました。また当日はi-constructionのロゴマークを建設用3Dプリンターで造形するデモンストレーションを行いました。弊社の方でもICT技術部で所持しているICT機器(新しい技術を取り入れた建設用の機械やソフトウェア)のうち測量用の「地上型レーザースキャナー」、「写真測量用ドローン」等の体験をしていただきました。

この見学会を行った背景として、昨今の建設業界の問題である技能者の高齢化や若者離れといった深刻な人手不足があります。弊社では人手不足に対応できるように生産性の向上を目指して今年5月にICT技術部を立ち上げ、新しい技術を積極的に取り入れています。その中で、Polyuse様の建設用3Dプリンターに出会い、型枠が不要で短時間で施工ができ、若者に対する魅力もある技術だと思ったので、集水枠の造形をPolyuse様にお願いしました。工事で建設用3Dプリンターを実際に使って施工を行った例は国内でもまだ数例しかないですが、今後どんどんと発展していく可能性がある技術だと思います。



3Dプリンタによる造形集水枠



写真測量用ドローン



地上型レーザースキャナー



